

## 【資料 2】

令和5年11月10日（金）  
第3回佐倉市子育て支援推進委員会

前回議論の要点（アンケート調査票について：会議録より抜粋）

### ■委員からの意見

- ・調査票について、貧困家庭の支援などに関する質問がないと感じた。
- ・イベントへの参加や習い事への補助に関する質問があればよいと感じた。
- ・質問の全体像が見えない。調査を、どう子育て支援施策に反映するのか。
- ・土日の教育・保育の状況について聞く項目があるのが良いと感じた。
- ・何のためにアンケートをとるのが重要。アンケートは、量より質が大事
- ・自由記述欄があるとよい
- ・佐倉市の今後の子育て支援施策に反映する旨が最初に書いてあるとよい
- ・利用者のニーズだけでなく、施設側の事情を把握することも大事
- ・前回のアンケートは分量が多く、内容が細かい
- ・ざっくり状況を掴みたいのか、細かい数字まで欲しいのかを明確に
- ・医ケア児の保護者やシングルマザーなど、困難な状況にある人の回答も必要
- ・ヤングケアラーについて、調査票への反映を
- ・貧困世帯の支援に関しても調査票に反映していただきたい

### ■市から

- ・普段困っていることを把握することで、施策の方向性が見える
- ・「こども誰でも通園制度」など、国が推進している新事業等に対するニーズを聞く

### ■調査方針設定のための論点など

- ①調査項目を減らす方針とするか（国のガイドラインに沿わない形での調査）
- ②佐倉市の子育て支援施策へ反映させるための質問設定について  
（国が推進する新事業等に対するニーズ調査を行うなど）
- ③ひとり親や医ケア児等、困難な状況にある人への調査を行うか
- ④貧困計画部分に関する調査を今回どこまで行うか